

## 消防団の組織概要

令和7年4月1日現在

都道府県名	佐賀県	所在地	〒845-0023			
市町村名	小城市		佐賀県小城市三日月町2312番地2			
消防団事務所管	小城市 総務部 防災対策課	電話番号(直通)	0952-37-6119	FAX	0952-37-6163	
消防団名	小城市消防団	メールアドレス	bousaitaisaku@city.ogi.lg.jp			

						<u> </u>	
	分団数		12	分団	ホームページURL	https://www.city.ogi.lg.jp/main/18269.html	
組織	うち機能別分団数		0	分団	SNSアカウント		
	方面隊数		0	隊			
	部数		42	部	们则凹凸到事例		
	班数			3	班	PR等	
	条例定数		900	人	小城市消防団広報だより	第38回 佐賀県消防提法大会で健闘	
		実員数		724	人		かに、4人1 部で持ち直げ回転な が起かがこうのか。 かにはなったのを報じか。 からになったのを報じか。 のは表が、このは、1000円のでは、10
		男性団員数		710	人	(P)(I)	の 日本
員	女性団員数		14	人	TALL	中島科学なん ろ側になって発起したいと世 らと思います。 部屋との間 の機関1分間乗1部 います。 カル第1分間乗1部 います。 カル第1分間乗1部 います。 カル第1分間乗1部 います。	
数 -	基本団員数		709	人	The Leading	・	
	大規模災害団員数			0	人		■ 最後を対す、これに基準で、これに基準できない地帯でした。 ・ 大部での表示で、大学に一般できない。 ・ 大学に一般できない。 ・ 大学に一般でで一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で一般で
	その他の機能別団員数			15	人	CONTRACTOR OF THE PARTY OF THE	(中国国際の母子 日井田 選点 おの間のごとはど際文でくだ 今曜日 195日 東 2章 3 5ので乗しんです。
		国家公務員		2	人		QaA
774.6		地方公務員		121	人	<sub>令和6年度</sub> 小城市消防団夏季訓練 小型ポンプ操法大会で	
職業構成	都道府県職員 市区町村等職員			13	人	小城第2分間で構成し に輝き、08も含め書びが す。これまでの便能軽 きかったのですが、初続等 でも練ぎするなど野合いに	が広がっていま から取得した からの現在が長年ができ ・ の間でない場合でき ・ ・ の間でない場合でき ・ ・ がいでない場合でき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
				108	人	した。訓練があってこそ、ます。 私たちの地域は岩松初 の植物治療の	取り組入でくれる
別 団	特殊法人等公務員に準ずる職員		哉員	13	人	小観察2万世段 toot toot 位置などを共有しています	す。その一方で何でも個別しあくる思い明確 ぜの被域のために一番に認わまりよう! 18回以上で、小坂市川に居住しているか、または日刊して 国際とくの4mg
員数		農協職員		11	人		USABABTERS. OBJUSTED BY-6110 COMMITTEE
奴	郵政職員		2	人	<sup>令和5年度</sup> 消防団の年	指 <b>活動</b>	
	その他		586	人	・火災活動 火災が配こった際は、自宅や職場から現場	★ 年末特別組成 # 2000年   2	
		普通消防ポンプ自動車		0	台	へ駆けつけて消火活動を行います。消防隊 員よりも先に乗場に困苦することもあるた め、初明消火守路が課員の他力を確など、 状況に応じて消火活動に努めます。	G-ADMINIAK A SERROR
<b>4</b> º		水槽付消防ポンプ自動車		0	台	<ul> <li>水防活動</li> <li>近年は水害等の出動も増加し、避難誘導や救助などの3の巡視や土のう積みなどを行い、被害を助止・軽減する</li> </ul>	る活動も行っています。 ・ び無人の資料の向上を目的として、ま ・ とを目的として、事件1/月末に実 ・ およの第末で伸出されてを取ります。
ポンコ	小	小型動力ポンプ付積電	車	47	台	☆ 辞令交付式および新入団員訓練	→ たた (小部市) ア海波報 と で
プ	ボンプ	ポ 小 型		1	台	- Andrews	11月 快天火火子标道商活動 常春季火火子标道商活動
	プカ	手引き動力ポンプ		1	台	団長から新入団員や限数が昇任した団員に 辞令が交付されます。式終了後、新入団員 は消防毒員の演技を動き、先輩元員から基 本的な男体動作などを学びます。	接・運転を増えた。 ・ 現・運転を対象とし、別の日本の本面の位用 ・ に行っています。 ・ で表記を対象を開発しませた ・ で表記を対象を表示されています。
年額	報酬額(階級:団員) 年額		年額	36,500	円		6月 7月 普通教命期習会 在技部の活動
報	(参考)交付税単価(階級:団員) 年額		36,500	円	4,9	9年 別志 所の原用機 生きがら 15 回 年 別 日本 別	
出動	<b>動</b>		8,000	円	7月~8 夏季訓練事績	Stateman A. Morasovin-or and Banaca and and	
報酬	<sup>酸</sup> ・ 風水害等の災害		8,000	円			

<sup>※1:「</sup>消防団の組織概要等の調査」による。

※2:「不解報報酬」「出動報酬」の額は、令和7年4月1日現在の条例で定める額。 「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。 定めがない場合又は年額支給の場合には「一」と記載。

<sup>※3:</sup>詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。